

**(株)サンエイ**

福山市手城町2-1-19 TEL084・922・6190

OA機器・オフィス家具販売などの(株)サンエイ(福山市手城町2-1-19)が7月、オフィス環境の困り事を解決する総合クリニック「サンエイ・オフィスクリニック」事業をスタート。ネットワークセキュリティーを中心としたIT専門企業へ業態をシフトする第一歩を踏み出した。

同社は1946年、文房具店として創業。70年以上の社歴の中で、3回にわたり業態の転換を図ってきた。「今回が4回目の“脱皮”」と話す武田聡樹社長。「信頼され、任せてもらえる会社になる」と意気込む。



武田聡樹社長

## 業態転換で“第4の脱皮”を 困り事解決「オフィスクリニック」スタート



サンエイ社内

「IT格差で「機熟した」

「オフィスクリニック」事業ではセキュリティー分野を中心に、ITへの効果的な投資から安心・安全なオフィス環境づくり、情報発信までITに関する課題をトータルでサポートしていく。

日進月歩のスピードで技術が向上していくIT業界で、専門家と一般の人との知識の差は開くばかり。しかしオフィスのIT環境の整備に際しては顧客が主導権を握り、自分たちの好む機器を使ってネットワークを構築しがちなのが

現状だ。

「そこは専門家に任せられた方が良い」というのがオフィスクリニックの考え方。「どのような機器を選ぶか、どんなセキュリティー体制にするか、漠然とした思いをわれわれが具体的な構成に変える。いわば顧客企業の希望を「翻訳」する立場」と武田社長は説明する。「税務関係のことは顧問税理士にすべて任せるように、IT関係については全幅の信頼をして任せていただくイメージ」という。

オフィスクリニックの構想は「一〇年ほど前から頭にあった」とする。当時の同社はオフィス向けの複写機販売が主力だったが、「いずれ一般企業は、IT関連業務をすべてアウトソーシングせざるを得なくなると考えていた。時代が近づきつつある」。構想実現へ機が熟したと感じている。

事業の具体化に際し、三〇代の社員でプロジェクトチームを立ち上げた。「ほとんど彼らに任せたい。自分たちが未来にどういう仕事をしたいか、思いを形にしてもらった」(武田社長)。

プロジェクトの中心になった研究開発部営業チームの田村恭宏さ